



政策研究大学院大学



海上保安大学校

講義・演習



# 海上保安政策課程

~Maritime Safety and Security Policy Program~

## 海上保安分野の人材育成支援は我が国の重要な国策

### 1 第20回「海の日」特別行事総合開会式における安倍総理スピーチ (平成27年7月20日)

国際社会全体の平和と反映のため、海で繋がる同志と、知識や経験を分かち合うのが日本の使命です。

この秋、日本の大学院に、世界で初となる海上保安政策の修士課程を新たに開設し、アジア各国から幹部候補を受け入れる。単なる知識の習得ではなく、波濤を越えて、アジア全体で「思いを共有する」。そんな教育を目指していきたい。



(写真提供：内閣広報室)

### 2 第13回アジア安全保障会議における安倍総理の基調講演 (平成26年5月30日)

日本で開催されたJICAアセアン地域海上保安幹部職員セミナーにおいて、1ヶ月間海上保安官と寝食を共にしたマレーシア研修生が、「日本は技術はもちろん、1人1人、士気の高さがすばらしい。持って帰りたいのはこの気風だ。」とコメントした。私たちが本当に伝えたいことをわかってくれた。



(写真提供：内閣広報室)

### 3 国家安全保障戦略(平成25年12月17日閣議決定)

シーレーンの安全確保を含む海洋安全保障の強化は、我が国の国家安全戦略の重要な柱であり、我が国は各国と緊密に連携しつつ、力ではなく、航行の自由、法の支配といった基本ルールに基づき、「開かれ安定した海洋」の維持・発展に向け、主導的な役割を發揮することが必要。

開発途上国から、将来指導者となることが期待される優秀な学生や行政官を含む幅広い人材を我が国に招致し、我が国の制度や技術・ノウハウに関する教育訓練を提供。人材育成で培ったネットワークの維持・発展を図り、協力関係の基盤を拡大・強化。

## 日本財団による支援

本課程において、日本財団から研修生の研究及び国際的ネットワーク確立のための支援を受けています。

### 【問い合わせ先】

〒100-8976

東京都千代田区霞が関2-1-3

海上保安庁総務部教育訓練管理官内

Tel: 03-3591-6361(代表) 内線70-2612



# 法とルールが支配する海洋秩序の強化を担う人材の育成を目指して

## 背景

アジア諸国は世界でも有数の輻輳航路であるマラッカ・シンガポール海峡や南シナ海を擁し、エネルギー資源、食糧、製品等の海上物流にとってきわめて重要な地域となっています。また、アジア諸国は近年の経済成長が目覚しく、同地域に係る海上輸送が円滑に行われることは、当該国、地域のみならず世界経済にとって大変重要です。この海上輸送交通路の安定を図るためには、海賊、密航・密輸、海上災害、環境保全等の課題に加え、新興国の急速な海洋進出に伴う国家間の権益の重複による紛争等、様々な課題に沿岸国が主体的に取り組むことが必要です。

この重要かつ喫緊の課題に対処するために、海上保安庁は、引き続き関係機関と密接な協力の上、シーレーン沿岸国の海上保安機関設立支援や職員の人材育成等を通じた能力向上を支援し、各国との協力関係を強化する等の施策を強力かつ的確に推進していく必要があります。

## 目的

アジア諸国の海上保安機関の相互理解の醸成と交流の促進を通じて、海洋の安全確保に向けた各国の連携協力、認識共有を図るため、海上保安政策に関する修士レベルの教育を行う「海上保安政策課程」を新設し、海上保安庁及びアジア各国の海上保安機関の初級幹部職員を対象として、以下の能力を有する人材を育成するとともに、国際的ネットワークの確立を目指します。

**高度の実務的・応用的知識**  
**国際法・国際関係についての知識・事例研究**  
**分析・提案能力**  
**国際コミュニケーション能力**

## 対象者

海上保安庁及びアジア各国海上保安機関の初級幹部職員で、以下の条件を満たす者  
 学士以上の学位を有する者  
 海上保安機関の職員で、5年以上の実務経験を有する者  
 40歳未満の者  
 就学に必要な英語能力を有する者

## 修了認定

所定の科目を履修して30単位以上取得し、かつポリシーペーパーを提出して合格した研修生に対しては、政策研究大学院大学長から海上保安大学校長との連名で、「修士（政策研究）Master of Policy Studies」の学位を授与します。



## カリキュラム

本課程は、政策研究大学院大学と海上保安大学校が協力し、以下のカリキュラムにより実施します。

	前期課程（10月～3月）		後期課程（4月～9月）
	政策研究大学院大学（東京）		海上保安大学校（広島）
必修科目	国際関係論 東アジア国際関係論 国際法	安全保障論 国際海洋法	救難防災政策 海上警察政策
選択科目	ミクロ経済学 日本の政府と政治 国際政治経済学 比較政治学 統計学の基礎 数量分析基礎	マクロ経済学 公共経済学 国防戦略・安全保障論 東南アジアの国と政治 越境犯罪と安全保障	国際比較刑事法 海洋環境科学 交通管理システム 情報管理システム 海洋システム工学
演習科目	海上保安政策演習1、海上保安政策演習2		
特定課題研究	ポリシーペーパー（修士論文に相当）の執筆		

## 年間スケジュール

標準的な年間スケジュールは次のとおりです。このほか、海上保安関係施設等のスタディーツアー、国内外有識者による特別講義等を実施します。

日程	実施内容
9月	研修生来日、オリエンテーション
10月	開講式
10月～3月	政策研究大学院大学（東京）における研究等
4月～9月	海上保安大学校（広島）における研究等
9月	東京へ移動 閉講式、学位記授与式、研修生離日



## 研修実施施設

### 【前期課程：10月～3月】

政策研究大学院大学（東京都港区六本木7-22-1）  
 滞在先：JICA東京国際センター  
 （東京都渋谷区西原2-49-5）



### 【後期課程：4月～9月】

海上保安大学校（広島県呉市若葉町5-1）  
 滞在先：JICA中国国際センター  
 （広島県東広島市鏡山3丁目3-1 ひろしま国際プラザ内）



## 独立行政法人国際協力機構（JICA）スキームによる実施

本課程は我が国の国際協力の一環として、JICAスキームにより実施します。研修生は、研修期間を通じてJICA国際センターに宿泊し、JICAが提供する交流プログラムに参加します。